

国指定 武蔵国分寺跡 史跡 附 東山道武蔵路跡

武蔵国分寺の規模と構造

僧寺の金堂を中心に東西2km、南北1.5kmに及ぶ範囲に、寺院に関連する集落が広がっており、その範囲が寺地として考えられています。

古代官道である東山道武蔵路を挟んで、東側に僧寺、西側に尼寺が配置され、国府から両寺へ通じる通路の分岐点には参道口（現府中市）があります。

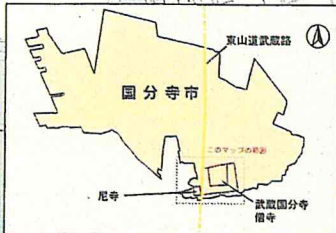
僧寺は寺院地・伽藍地・中核部の三重に、尼寺は伽藍地・中核部の二重に区画されています。

武蔵国分寺を構成する主要伽藍

金堂	本尊を安置する建物
講堂	経典などの講義を行う建物
中門	中核部区画の中軸線上に取付けられた門
鐘楼	時を告げる梵鐘を吊った建物
経蔵	経典などの書物を収蔵する建物
僧坊(尼寺)	僧(尼)が起居する建物
七重塔	「金光明最勝王経」を安置する建物
北方建物	僧寺伽藍中軸の北方、崖線上に建つ礎石建物

復元対象範囲はオレンジ色のマーカーで囲った「僧寺中核地域」及び「七重塔」エリアです

(武蔵台遺跡)



凡例

- 史跡指定区域
- 市立歴史公園
- 発掘調査範囲
- 礎石建物跡・掘立柱建物跡
- 竪穴建物跡
- 溝跡
- 堀跡
- 道路跡(推定)
- 区画溝跡(推定)
- 国分寺崖線
- 湧水源(埋没・枯渇含)・水系
- 行政境界

この地図は、武蔵国分寺跡および周辺道路の調査成果のうち古代以降の遺構を示したものです。



【住所】〒185-0023 東京都府中市西元町1-13-10
【電話】042-323-4103
【FAX】042-300-0091

発行：2024年2月

(武蔵国分寺関連遺跡)

府中市

参道口

万作の木公園
(武蔵国分寺参道口跡)

この地図は、調査資料の承諾を受けて、調査範囲内2500分の1地図を
利用して作成したものである。(作成年度)5部市役所2部6号